
新2年生ガイダンス(2011年度)

政治経済学部経済学科@15-301

2011年3月12日

第1部 14:00-14:45 経済学科ガイダンス

第2部 15:00-15:45 キャリア・留学支援(全学科)

ガイダンスの流れ

- 学生生活における諸注意
- 経済学科のカリキュラムの仕組み
- 必修科目についての説明
 - 「ミクロ経済学a」・「マクロ経済学a」
- 諸制度
 - 副専攻；留学；3年卒業制度；奨学金など

学生生活における諸注意

- 学生生活における変化
 - 専門科目の履修が本格化する。
 - ゼミへ向けて何を準備すべきか。
 - 過年度生(いわゆる留年)が3割いるという現実。
- 自分の将来をじっくりと考えよう。
 - 6+3+3+4年間の学校生活も終盤に入る。
 - 学生から社会人へ
 - 自分の適性をふまえた適切な進路目標設定と計画的準備が重要

学生生活における諸注意

- 大学におけるレポート・論文の意味
 - 大学における研究
 - 新しいアイデアを自分で生み出す。
 - 「大学で研究する」ためには
 - 基礎的な力を訓練する。
 - 先人の知恵を消化・吸収 ← 試験で評価
 - 新しいアイデアを創出して他者に伝える。
 - 概念を構成して正確に伝える ← 論文・レポートで評価
 - 剽窃(他者のアイデアの無断借用)は厳重な処罰の対象になります。

学生生活における諸注意

- 社会的ルールの遵守
 - 学内・学外における喫煙場所
 - 飲酒に関する規則(年齢制限、飲酒運転)
 - 禁止薬物使用やハラスメント行為は絶対にあってはならない
- ネット利用上の注意
 - SNS, twitterなどへの書き込み
 - ID・パスワードの貸与禁止
- 学生であっても、良識ある大人としての責任が求められます。

学生生活における諸注意

□ 麻疹(はしか)の予防接種

- 2007年度の春、麻疹の流行のために、大学の教育・研究の運営に大きな影響がおよぼされました。
- 抗体の定着は、個々人の履歴(罹患・予防接種の状況など)によって異なります。
 - とくに、これまで罹患しておらず、予防接種を2回受けていない人は、免疫がない可能性があります。
- 各自で予防接種を受けて、麻疹の流行に備えるようにしてください。

経済学科のカリキュラムの仕組み

□ 経済学科のカリキュラム

■ 経済学科目

□ 数学科目: 数学関連科目(2単位以上)

□ 入門科目: 導入科目としての「XX入門」

□ 専門科目: 入門科目を前提とした専門科目 } 68単位以上
■ 基礎分野(3分野)+応用分野(5分野)

□ 関連科目: 他学科(政治学科目から4単位以上)

■ 学部共通科目+隣接諸科学科目(20単位以上)

□ 2年生以降は

■ 「基礎的な力の訓練」→「新しいアイデアの創出」

経済学科のカリキュラムの仕組み

■ 専門科目

□ 分野(基礎3分野と応用5分野)

- 基礎: 経済理論、統計・計量、経済史・経済学史
- 応用: 公共、社会・労働、金融、産業・企業、国際

□ 前提科目制

- 科目関連図に示された順序での履修が原則
 - どの分野でも「基礎 → 発展」という手順が効果的
- 在学中の履修プラン構成上、2年生の科目登録が重要
 - 3年生・4年生でどのような研究をするかを念頭に。
 - 独自の前提科目をもつゼミもあるので注意。

経済学科のカリキュラムの仕組み

□ 経済学演習(ゼミ)について

■ 経済学演習:3年生(α)・4年生(β)配当

□ 前提条件:

- 「経済学入門A,B」(必須) + 各ゼミ独自の条件

□ 政治学演習・国際政治経済学演習も選択可

- 学科ごとに必要条件あり。

□ 選考時期:2年生秋学期(11月・12月・3月の3回)

- 「どのような領域を勉強してきたか」がポイントになるので、2年生のときの科目登録が重要になる。

必修科目

「ミクロ経済学a」・「マクロ経済学a」

□ 「ミクロ経済学a」

- 「経済学入門A」(ミクロ経済学)の上位科目
- 「解析学(入門)」の知識が前提とされる。
- 永田良・荻沼隆・荒木一法(2008)
『標準 ミクロ経済学』東洋経済新報社

□ 「マクロ経済学a」

- 「経済学入門B」(マクロ経済学)の上位科目
- 「解析学(入門)」の知識が前提とされる。
- 笹倉和幸(2008)
『標準 マクロ経済学』東洋経済新報社

諸制度

□ 副専攻

■ 趣旨

- 専門(経済学)の研究の他に、集中的に学習した分野を「副専攻」として認定する。

■ 種類

- 「総合人間学」、「地域文化研究(日本・アジア)」、「地域研究(ヨーロッパ)」、「地域研究(北中南米)」、「政治学」、「法律学」、「報道・ジャーナリズム」、「**会計学**」

■ 履修方法

- 副専攻ごとに提示された必要科目を履修する。

＜副専攻の詳細に関して＞

学部HP→在学生の方へ→科目登録→科目登録関係書類

→「**2010年度 科目登録の手引き補助ページ(副専攻、優先順位、経済学科関連図、大学院先取り科目)**」

諸制度

- 留学
 - 留学形態によっては4年間(含留学)で卒業可。
 - 交換留学、TSA、DDプログラム(北京大学、復旦大学、国立台湾大学)など
 - 学部独自の制度もあります。
 - アムステルダム自由大学、香港城市大学、オックスフォード大学St. Peter's College
- 英語によるコンテンツ講義
 - 33(G30科目)+20=53科目。G30科目はTOEFL550以上が履修の前提条件、G30科目以外は講義要項で確認。また、日本語科目で同内容のものを履修済みの場合は履修できない。
 - 登録時に発展科目として40単位を超えて登録可。
 - 登録年度末に40単位の中に算入可。
 - 「卒業要件として登録できる年間単位数 \leq 40」は守る。

諸制度

□ 3年卒業制度(配布資料に説明あり)

■ 趣旨

- 大学院やロースクールへの進学など、希望者に早期卒業を可能とする。

■ 必要条件

- 3年終了時に124単位取得している。
- 成績にもとづく(詳しい条件は事務所で確認のこと)。
- (専門)演習を履修している。
- 演習論文に登録して合格している。

諸制度

■ 注意

- 現時点で、「3年間で大学を卒業する」ことに対応している企業は稀です。また、大学院についても箇所によっては、対応していない場合もありますので事前に十分に確認してください。あくまでもひとつの選択肢として、自分のキャリアプランにプラスかどうか慎重に検討してください。

諸制度

□ 大学院への進学

■ 先取り科目

- 大学院の科目の一部が学部在学中に履修できる。
- 修士課程を1年間で修了することが可能になる。
- 配布資料に説明があります。

■ 推薦入試制度

諸制度

□ 奨学金

■ 多様な奨学金制度:

□ 早稲田大学奨学課 webpage を参照のこと。

■ 政治経済学術院奨学金(政経スカラシップ)

□ 趣旨: 学業奨励が目的。2009年度から開始。

□ 対象:

■ 政経学会論文コンクールに提出された論文の中から、優れた論文を学年ごとにひとつ選んで執筆者にあたえる。

□ 金額: 20万円/人・年(毎年選考・年6人)

諸制度

- 試験の評価に関する問い合わせ
 - 教員個人に直接問い合わせない。
 - 確固たる理由がある場合にかぎり、問い合わせ期間内に事務所に問い合わせること。
 - 例：受験したにもかかわらず「不受験」となっていた。

引き続き第二部(留学&キャリア支援)

- キャリア支援について@15-401
 - 15:00-15:20
- 留学&キャリア支援について@15-201
 - 「留学について」 15:00-15:20
 - 「キャリア支援について」 15:25-15:45